

もも・ネクタリン特報

◇今後は、梅雨期の連続した降雨や気温の上昇によって病虫害が多発する時期となります。せん孔細菌病の発生園では袋掛けをすすめ、果実感染防止に努めましょう。

また、徒長枝の整理・支柱立て・園内除草等の管理作業も適宜実施しましょう。

*隣接する園地や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。

*ももとネクタリンの混植園は、ネクタリンの防除を実施してください。



もも

第8回 定期防除

散布時期：6月29日～7月4日（前回散布から14日以内）

散布薬剤： 水	100ℓ	
展着剤	20ml	
ナリアWDG	50g	（収穫前日、2回以内）
⑧イカズチWDG	66g	（収穫前日、5回以内）

（劇・・・劇物のため、ご購入の際は印鑑をご持参ください）

対象病虫害：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、カメムシ類

10a 当り散布量：600ℓ

散布日	月	日
散布量		リットル

ネクタリン

第8回 定期防除

散布時期：6月28日～7月3日（前回散布から14日以内）

散布薬剤： 水	100ℓ	
展着剤	20ml	
ナリアWDG	50g	（収穫前日、2回以内）
⑧イカズチWDG	66g	（収穫前日、2回以内）

対象病虫害：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、カメムシ類

10a 当り散布量：600ℓ

散布日	月	日
散布量		リットル

【注意事項】 もも・ネクタリン共通

①せん孔細菌病の多発園は、スターナ水和剤の1,000倍（7日前、3回）を加用する。

*ただし、収穫前規制に注意する。（収穫7日前まで散布可能）

②ナリアWDGはぶどう（ピオーネ、サニールージュ）、西洋梨ルクチェに薬害を生じる恐れがあるので、隣接園は注意する。

ナリアWDGに代えて、ファンタジスタ顆粒水和剤の3,000倍（前日、3回）を使用してもよい。

③ハダニ類の発生園は、カネマイトフロアブルの1,000倍（もも7日前・ネクタリン3日前、1回）または、コロマイト乳剤の1,000倍（7日前、1回）を加用する。 *収穫前規制に注意する。

裏面は、収穫予想、今後の管理作業等について掲載しています。必ずお読み下さい。

☆収穫開始期 予想

中野市平岡地区 極早生種 7月12日頃～ 白鳳 7月28日頃～（昨年比4～5日早い）

●参考：長野県果樹試験場（須坂市）H27 白鳳収穫予想 7月26日頃～

今後の気象状況により前後しますので、園地の生育状況をこまめに確認しましょう。

＊県外産地では、核果類を中心に昨年よりも7日程度早く生育が進んでいる模様です。

＊摘果・袋掛け作業は段取りよく進めるとともに、収穫前の着色管理(除袋・反射マルチ・葉摘み等)は遅れないよう
ご注意ください。（極早生種注意）

○もも・ネクタリン肥大調査（6月15日現在）

【あかつき】

項目	縦径(cm)	横径 (cm)	幅 (cm)
測定値(cm)	4.7	4.7	4.3
前年比 (%)	109.3	106.8	107.5
平年比 (%)	114.4	119.0	122.2

【ファンタジア】

項目	縦径(cm)	横径 (cm)	幅 (cm)
測定値(cm)	5.0	3.9	3.8
前年比 (%)	113.6	105.4	111.8
平年比 (%)	121.1	115.4	124.6

【川中島白桃】 H26 から調査園場変更のため平年比は記載なし

項目	縦径(cm)	横径 (cm)	幅 (cm)
測定値(cm)	4.3	4.2	3.8
前年比 (%)	107.5	105.0	105.6

肥大は生育が進んでいる分、平年・前年を上回っている。

せん孔細菌病対策

特に葉病斑が多発している園地では、今後の果実感染が心配されます。

早期に袋掛けを実施しましょう（降雨による果実感染を防止する）

＊せん孔細菌病の多発が心配される園地では、果実感染防止のため、薬剤散布実施後、間に合い次第、袋掛けを実施してください。ただし、黄金桃・ネクタリン等で生理落果が発生する場合は、落果状況に注意して袋掛けを実施してください。

今後の管理

◆夏季管理

- ・日焼け防止・・・幹の太さが直径10cmを超えると、主枝背面が日焼けをおこしやすくなるので、フジホホワイト等を塗布する。また、背面の弱い新梢は日焼け防止に残しておく。
- ・徒長枝切り・・・背面から発生した發育旺盛な新梢を中心に徒長枝切りを行なう。（日照・薬剤の到達、樹形の維持のため）
- ・誘引・・・幼木や若木に対して、主枝や亜主枝養成のために行う。樹液の流動が盛んになり、枝がやわらかくなる夏季に実施する。
- ・支柱立て・・・主枝、亜主枝の垂れ下がり、枝折れ防止対策として実施する。

◆下草管理 園内除草を徹底しましょう

除草剤使用基準 ・ ・ ・ 10 a 当り バスタ液剤 500m l 水量 100～150 リットル

農作業中の事故にご注意下さい

- ・ハシゴは、チェーンや紐で止め、開かないようにして使用する。
- ・ハシゴの一番上の段に上つての作業は行なわないようにする。
- ・梅雨期は降雨により地盤が緩みます。傾斜地でのハシゴ・SSの走行等に十分注意する。

